



\*磁極とは、地磁気の水平成分が0、伏角が90度になる地球上の一点をいう。磁軸極は、地球の磁場を地球中心に置いた小さな棒磁石で近似的に表した地磁気座標の極である。オーロラ帯は、地磁気座標の緯度65~70度のオーロラの発生頻度の高い領域を意味する。

## 若者が支えるイギリス「BAS」の南極調査 高橋晃周

BAS (British Antarctic Survey) は、スコットやシャクルトンといった南極探検の英雄を輩出したイギリスの国立研究機関で、今も南極研究をリードしている。私はここで、さまざまな動物装着型計測器を使ってペンギンの生態研究を行っている。この研究所に来てまず気づくのは、博士課程、ポストドクの学生、あるいはフィールド・アシスタント (以下FA) として調査に関わっている若者が多いことである。

FAというのは、文字どおり現場での調査・データ収集を担うポストで、公募で選ばれる。BASの生物研究プロジェクトの多くが、生物あるいは生態系の特性の時間的変動性を測定し、変動をもたらすプロセスを解明することを主題としているため、長期の継続的研究におけるFAの役割は重要である。

私の分野では、ペンギン、アホウドリの個体数や繁殖のパラメータを継続的に測定するため、FAのポストが作られている。今年南極のフィールドへ向かったFAの1人は、大学卒業後イギリスのある nature reserve (自然環境保全機関) の職員としてアジサシの調査をしていた23歳の若者である。亜南極の孤島に2年半連続で滞在し、アホウドリの調査を行っている。



アデリーペンギンの産卵数をチェックする  
BASのフィールドアシスタント

調査期間を終えたFAたちはその後、イギリス各地にある nature reserve の管理者やRSPB (王立鳥類保護協会) などのNGOの職員として就職していく場合もあるし、引き続き南極の野生動物への興味を発展させて大学院生や常勤研究者となる人もいる。こうした野外調査のサポート体制に、イギリスの野生動物調査・研究の深さがうかがい知れる。